

【準2級・解説】

リスニング

PARTE I (N 1 – N 4)

N 3 c 【正答率】79.6%

M: Ssst... Guarda lì in basso, fra quelle foglie... Lo vedi?

F: Che cosa? Io vedo solo un mucchio di foglie secche...

M: Sì, ma fra le foglie secche... Guarda bene, non lo vedi il muso?

F: Ah, sì, ora l'ho visto... Che carino!

M: Non facciamo rumore, sennò scappa.

F: Dai, fagli una foto!

M: D'accordo, ora ci provo.

【訳】(男)しーっ……。そこの下の方をごらん、あれらの葉の間……。あれが見える？(女)何が？ 私にはひと山の枯葉しか見えないけど……。 (男)うん、でも枯葉の間に……。よくごらん、顔が見えない？(女)あら、ええ、今それが見えたわ……。なんて可愛いの！(男)音を立てないようにしよう、でないと逃げるから。(女)ねえ、あれの写真を撮ってよ！(男)分かった、今やってみる。

N 4 a 【正答率】83.7%

F: Ma cosa vuole quella donna da te? La conosci?

M: Donna? Quale donna, scusa?

F: Quella laggiù, dall'altra parte della strada, accanto a quella macchina bianca. È lì ferma, in piedi, ti sorride... Ti ha anche salutato con la mano.

M: Ha salutato me?! Stai scherzando? E chi la conosce!

F: Ah, non la conosci? E allora perché ti saluta?

M: Ma dai, Paola! Non vedi che sta guardando l'uomo seduto al tavolino dietro al nostro? Anche lui la saluta, vedi?

F: Ah, è vero! Mi era sembrato che guardasse te.

M: Sei proprio terribile, sai?

【訳】(女)あの女性はあなたに何の用なの？ あなた、彼女を知っているの？(男)女性？ どの女性だい、悪いけど？(女)むこうのあの人よ、道の向い側の、あの白い車の横の。あそこにずっと立って、あなたに笑いかけている……。手でもあなたに挨拶したわ。(男)僕に挨拶した?! 冗談を言っているのかい？ 誰が彼女を知っているっていうのさ！(女)へえ、あなた、彼女を知らないの？ だったらなぜ彼女はあなたに挨拶するわけ？(男)よししてくれよ、パオラ！ 彼女が僕たちの後ろのテーブルに座っている男性を見ているのが見えないのかい？ 彼も彼女に挨拶しているよ、ほらね？(女)あら、本当！ 私には彼女があなたを見ているように思えたのよ。(男)君ってまったく手に負えないよねえ？

PARTE III (N 9 – N 12)

N 11 c 【正答率】43.9%

M: Mi ricordo bene quando ce lo portarono a casa. Tu non te lo puoi ricordare, eri troppo piccola, ma eravamo tutti emozionati. Papà e mamma lo fecero mettere in un angolo del salotto, e tutti noi di fronte, sul divano. Di giorno rimaneva muto, non c'erano programmi. Cominciavano la sera. Un solo canale. Qualche volta venivano a vederlo da noi anche i nostri vicini, che ancora non ce l'avevano. Si passava la serata insieme, si rideva... Eh, che ricordi!

DOMANDA: Di cosa parlano?

【訳】(男)私はそれがうちに運ばれてきた時のことをよく覚えているよ。おまえはそれを覚えているはずはないね、おまえはあまりにも幼かった、でも皆とても感激していた。父と母がそれを客間の一角に置かせ、私たちは皆その正面に、ソファの上に。それは昼間は無音のままだった、番組がなかったんだ。晩に始まったものだ。チャンネルは 1 つだけ。時々私たちの近所の人たちも、それを観にうちに来ていた。彼らはまだそれを持っていなかったんだ。晩を共に過ごし、笑ったものだ……。ああ、懐かしい！
(問)何を話題にしていますか？ a) 来客 b) 犬 c) テレビ

N 12 b 【正答率】63.8%

M: Ho un forte prurito alla schiena, qui, dietro la spalla. Puoi guardare se mi ha punto qualcosa, un insetto...

F: Mah, veramente non hai niente, Luigi. Hai solo la pelle molto arrossata. Ti prude solo qui o anche in altri punti? Potresti aver mangiato qualcosa a cui sei allergico...

M: No, il prurito ce l'ho solo alla spalla, e non ho mangiato niente di strano. Sarà il sole che ho preso domenica al mare... Lì per lì mi bruciava un po', adesso mi prude.

DOMANDA: Perché a Luigi prude la schiena?

【訳】(男)僕は背中に強いかゆみがあるんだ、ここ、肩の後ろに。何か、虫とか何か僕を刺したのかどうか見てくれないかい……。 (女)そうねえ、本当のところ、あなたは何ともないわよ、ルイージ。肌がとても赤くなっているだけ。あなたはここだけがかゆいの、それともほかのところも？ あなたがアレルギーがあるものを何か食べたのかも……。 (男)いいや、かゆみは肩だけにあるし、それに、僕は変わった物は何も食べていない。日曜日に海で浴びた太陽だろうな……。あの時ちょっとひりひりしていたし、今はかゆいんだ。

(問)なぜルイージは背中がかゆいのですか？

- a) 虫に刺されたから
- b) 海に行つて陽を浴びたから
- c) 何か彼の体に悪いものを食べたから

PARTE IV (N 13 – N 16)

N 15 a 【正答率】60.7%

M: Mi dispiace, signora, ma qui non ci può stare.

F: Solo un momento, guardi. Un attimo. Entro un secondo qui nel negozio e...

M: Eh, no, signora. Qui non la può lasciare, neanche per un attimo. Lo vede anche lei, no? Questo è un passo carrabile. Se non la sposta subito, devo chiamare il carro attrezzi.

F: Ho capito, ho capito... Però per un momento poteva anche chiudere un occhio, scusi.

【訳】(男)あいにくですが、この場所におられてはいけません。(女)少しだけですよ。一瞬です。ちょっとこの店に入って、それから……。 (男)いえ、だめです。ここには一瞬たりともそれを置いておくことはできません。あなたにも見えるでしょう？ ここは車輛出入り口です。もし今すぐこれを移動されないなら、私はレッカー車を呼ばざるを得ません。(女)分かりました、分かりました……。ですけど、ちょっとくらい見逃して下さってもよかったですでしょうに、お言葉ですけど。

女性ができないことは:

- a) 駐車禁止の場所に車を駐めておくこと
- b) 商店は閉まるところなので、入店すること
- c) 道路は封鎖されているので、そこを通行すること

N 16 b 【正答率】57.1%

M: Di' quel che vuoi, ma io i libri li preferisco cartacei. Vuoi mettere?

Prenderli tra le mani, sfogliare le pagine...

F: Sì, ma quanto posto prendono?

M: Ho trascorso la vita circondato dai libri e non me ne pento.

F: Un ebook non prende spazio, lo consulti facilmente, ci puoi prendere appunti senza sporcare irrimediabilmente le pagine...

M: Beh, anch'io li prendo gli appunti.

F: Tu che scrivi sui libri?! Non ci posso credere!

M: Mica direttamente! Uso quei foglietti adesivi, come si chiamano...?

F: Ah, i post-it®!

M: Sì, quelli. Sono davvero comodissimi.

F: Eh, beh, certo.

【訳】(男)君が何と言おうとも、僕は本は紙の方が好きなんだ。較べ物にならないだろう？ それらを手に取り、ページをめくり……。 (女)そうね、でもどれだけ場所を取るかしら？ (男)僕は本に囲まれて人生を送ってきたし、そのことに悔いはないさ。(女)電子書籍は場所を取らないし、簡単にそれを参照ができるし、取り返しのつかないほどページを汚さずに書き込みができるし……。 (男)いやあ、僕だって書き込みはするよ。(女)あなたが本の上

に書く?! 信じられない!(男)じかにじゃないよ! あの、貼れるメモを使うんだ、何という名前だっけ……?(女)ああ、ポスト・イット®ね!(男)そう、あれ。本当にとても便利だよね。(女)まあ、そうね、確かに。

男性は: a) 紙の本に好感をもっていない
b) 本の上に直接書き込みはしない
c) ポスト・イット®を一度も使ったことがない

PARTE V (N 17 – N 22)

Secondo ascolto (N 20 – N 22)

F: Tu, Antonio, domani esci presto, vero?

M: Beh, sì, Carla, verso le sei.

F: Viene anche Stefano?

M: Sì, te l'avevo detto, no? Andiamo a pescare.

F: Potete andare con la sua macchina? La nostra servirebbe a me.

M: Sì, certo. Non c'è problema. Ora gli telefono e glielo dico. Prenderemo la sua.

F: Grazie. A proposito, visto che passerete la giornata insieme, lo sai che Stefano e Milena hanno di nuovo litigato?

M: Sì, Carla, Stefano me l'ha detto.

F: Guarda, se ci parli un po' tu... Ho parlato con Milena ed è veramente distrutta. È così innamorata di lui... Ma Stefano non la capisce e...

M: Eh, lo so. Ma perché non ci parli tu con Stefano, scusa? In fondo è tuo fratello.

F: Sì, lo so, ma me non mi ascolta. Te invece... siete così amici...

M: Vabbè, dai, proverò a parlarci.

【訳】(女)アントーニオ、あなた明日は早く出かけるんでしょう?(男)まあ、そうだね、カルラ、6時頃。(女)ステファノも来るの?(男)うん、そのことは君に話しただろう? 僕たち、釣りに行くんだ。(女)彼の車で行ってもらえる? 私たちののは私に必要なんだけど。(男)ああ、いいとも。問題ない。これから彼に電話して、彼にそう言うよ。僕たちは彼の車に乗るよ。(女)ありがと

う。そういえば、彼とあなたは一日一緒に過ごすわけだけど、ステファノとミレーナがまた口喧嘩したこと、あなたは知っている？(男)うん、カルラ、ステファノがそのことを僕に言ったよ。(女)ねえ、あなたから彼に話をしてくれれば……。私はミレーナと話したの、で、彼女は本当に打ちのめされているの。彼女はあんなに彼に夢中なのに……。でもステファノは彼女のことを理解していないし……。(男)うん、それは分かっている。でも君がステファノと話したらどうだい、悪いけど？ 何だかんだ言って彼は君の兄弟なんだし。(女)ええ、分かってるわ、でも彼は私に耳を貸さないの。そこへいくとあなたなら……。あなたたちはこんなに仲良しだし……。(男)分かったよ、ほら、彼と話してみるよ。

N 20 b 【正答率】45.9%

【訳】明日アントーニオとカルラは釣りに行くだろう

N 21 b 【正答率】65.3%

【訳】彼らはカルラの車を使うだろう

N 22 a 【正答率】54.1%

【訳】カルラとステファノは兄弟だ

PARTE I (N23 – N43)

N 37/38/39

【訳】私が学生だった時、一緒に話をする事ができる女友達が多くいました。しかし、もう何年も前から彼女たちと連絡を取っていません。

N 37 a 【正答率】76.0%

【解説】職業や身分について、fare を用いて表現する場合、通常、〈fare + 定冠詞 + 名詞〉という形にするので、定冠詞のない c) facevo も、不定冠詞の付いた d) facevo una も不適切です。一方、essere を用いて表現する場合、〈essere + 定冠詞 + 名詞〉の形にすると、主語の人物がその職業や身分の特定の人物であることを示し、〈essere + 無冠詞の名詞〉にすると、名詞は形容詞に近い働きをして、主語の人物が単にその職業や身分の特徴や性質を持っていることを示します。ここでは、「私」が特定の学生であったことではなく、単に学生という身分であったことを言おうとしているので、定冠詞を付けるのではなく、無冠詞が適切です。したがって、b) ero la ではなく、a) ero が正解です。

N 38 b 【正答率】87.2%

【解説】〈parlare con + 人〉で「人と一緒に話をする」を意味するので、空欄に関係代名詞を補って、con 以降が amiche を先行詞とする関係節になれば、文意が通ります。関係代名詞が前置詞を伴うとき、〈前置詞 + cui〉または〈前置詞 + 定冠詞 + quale/i〉となるので、con cui の b) が正解です。なお、〈前置詞 + cui〉または〈前置詞 + 定冠詞 + quale/i〉の後には、この設問のように動詞の不定詞を置くことができ、potere「～できる」や dovere「～しなければならない」の意味を帯びます。

N 39 c 【正答率】35.2%

【解説】〈sentire + 人〉は「人の声を聞く」という元の意味から広がって、「人と電話で話す、連絡を取る」という意味でも使われます。ここで連絡を取る相手は amiche「女友達」ですので、それを受ける女性複数の直接補語人称代名詞 le が動詞の前に付いた、c) le sento が正解です。

N 40/41/42/43

【訳】「私はフランチェスカにケーキ用の卵を買いに行くように頼みましたが、まだ彼女が帰ってきていません。彼女に何かあったということでしょうか？」
「違いますよ、落ち着いてください！ フランチェスカがどんな人か知っていますよね？ 誰か女友達に出会って、おしゃべりをし始めたのでしょうか」

N 40 d 【正答率】79.1%

【解説】動詞の不定詞と共に補語人称代名詞を用いるときは、不定詞の末尾の e を取って直接付けます。したがって、不定詞の前に mi が付いた a)、b)、c) は不適切です。移動を表す動詞(この設問の *andare* のほか、*venire*、*tornare* など)の後に不定詞が続く場合、不定詞に付く補語人称代名詞は、移動を表す動詞の方に付けることができます。そして、移動を表す動詞が、この *andare* のように不定詞の場合、補語人称代名詞は移動を表す動詞の方に付けます。よって、d) *andarmi a comprare* が正解です。

N 41 d 【正答率】28.6%

【解説】文頭に接続詞の *che* を置き、動詞の接続法を用いた疑問文は、話者の疑念を帯びています。*che* の前に *è possibile* が省略されていると考えられ、〈*è possibile che* + ~?〉を訳すと「~ということがあり得るか？ ~ということかもしれないのか？」となり、文脈に合います。したがって、接続法過去 *sia successo* の、d) が正解です。

N 42 a 【正答率】58.7%

【解説】*incontrare* は他動詞なので、動詞の後に前置詞のない〈*incontrare* + 人〉という形で、「(意図せず)人に出会う、(意図して)人に会う」を意味します。再帰代名詞を伴うときは、動詞の後に前置詞のある〈*incontrarsi con* + 人〉の形で「(意図して)人に会う」、稀に〈*incontrarsi in* + 人〉で、「(意図せず)人に出会う」を意味します。再帰代名詞を伴う c) と d) は、動詞の後に前置詞がないので、不適切です。残った a) と b) は他動詞で、この設問での先立未来のような複合時制を作るとき、助動詞として *avere* を使うので、a) *Avrà incontrato* が正解です。なお、先立未来は、過去の事柄についての推測を表します。

N 43 d 【正答率】55.1%

【解説】「～する状態になる、～し始める」という意味を表す〈*mettersi a + 動詞の不定詞*〉の形になれば、この設問での文脈に合います。これを N 42 と同じように先立未来にします。再帰動詞は先立未来などの複合時制において助動詞として *essere* を用いるので、d) *si saranno messe* が正解です。

PARTE II (N 44 – N 52)

N 48 b 【正答率】55.1%

【訳】私が小さかった時、両親は私の望む全てのことを私にさせておきました。【解説】4つの選択肢は、*i miei*「私の両親」を主語として、3人称複数直説法半過去に活用した動詞と考えられます。これらの動詞は、その後に動詞の不定詞を伴うとき、a) 〈*autorizzare a + 不定詞*〉で「(人が)～することを許可する」、b) 〈*lasciare + 不定詞*〉で「(人が)～するままにする、(人に)～させておく」、c) 〈*permettere di + 不定詞*〉で「(人が)～することを許可する」、d) 〈*tollerare di + 不定詞*〉で「(自分が)～することを容認する、我慢する」という意味になります。前置詞なしで不定詞を伴うことができるのは *lasciare* だけで、意味も文脈に合うため、b)が正解です。

N 49/50

【訳】この蛇口は水を漏らし続けていて、水道屋を呼ぶ必要があります。

N 49 b 【正答率】26.0%

【解説】4つの選択肢、a) *correre*「走る、(液体が)流れる」、b) *perdere*「失う、(液体を)漏らす」、c) *piangere*「泣く」、d) *scendere*「下がる」のうち、蛇口を主語として自然な文意になるのは、b)です。

N 50 a 【正答率】50.5%

【解説】4つの選択肢、a) *l'idraulico*「水道屋」、b) *l'imbianchino*「壁塗り職人」、c) *l'infermiere*「看護師」、d) *l'interprete*「通訳」のうち、蛇口の水漏れという文脈に合うのは、a)です。

N 51/52

【訳】「私は家に財布を忘れました。もし君が私をここで待ってくれるなら、私は ATM に立ち寄って、少しお金を引き出します」「心配しないで、私が払いますので、明日私に返してください」

N 51 c 【正答率】35.7%

【解説】4 つの選択肢、a) giro「回転、周遊」、b) passo「歩み、一歩」、c) salto「跳ぶこと、ジャンプ」、d) volo「飛ぶこと、フライト」のうち、salto は〈fare un salto + 前置詞 + 〉で「～に立ち寄る」を意味します。文脈に合う c) が正解です。

N 52 d 【正答率】55.6%

【解説】4 つの選択肢は、tu を主語として直説法現在に活用した動詞と考えられ、a) donare「贈る」、b) offrire「提供する」、c) passare「渡す」、d) rendere「返す」を意味します。話者が代金を立て替えるという文意になると自然ですので、d) が正解です。

PARTE III (N 53 – N 59)

【訳】固有名詞の“フランチェスコ”は中世ラテン語の“フランキスクス”に由来し、元々は「フランコ」、つまりゲルマン民族のフランク族に属した、という意味でした。彼らは3世紀以降、最終的には自分たちの名を与えることになる地フランスに定住していた民族でした。人名の固有名詞としてはすでに12世紀から使われ始め、その後アッシジの聖フランチェスコへの崇敬がそれを全西欧にたちまち広めるのに貢献しましたが、イギリスは例外で、ここへは16世紀になってようやく伝わりました。

実は、誕生時には、未来のアッシジの聖人は母親のピカ夫人から、当時の習わしに従い父親の名と父方の祖父の名を後に続けたジョヴァンニという名前で洗礼を受けていました。つまり“ジョヴァンニ・ディ・ピエトロ・ディ・ベルナルドネ”です。裕福な布地商人であった父親は、子供が生まれた時は、南仏のプロヴァンス地方にいました。ここは彼が、繁栄する彼の事業を監督するため常々足しげく訪れていたところです。実際、その地方で彼は高級布地を入手しては、その後アッシジ中心街にある彼の店で転売していたのですし、彼の妻のピカ夫人もプロヴァンスの出身でした。ピエトロ・ディ・ベルナルドネの旦那様はしかし、アッシジに戻って来た時、子供の名前

を変えることに決めました。もはや“ジョヴァンニ”ではなく、自分の財産がそのおかげである、まさにそのフランスに敬意を表して、当時としてはかなり珍しかった、“フランチェスコ”と。その後この聖人の名声は、上述のように、この実に美しい名前の使用を広めるのに貢献しました。西洋世界でのその多くのバリエーションだけでも考えてみてください。フランソワ、フランシスコ、フランツ、フランシス、フランク……。

今日なお“フランチェスコ”はイタリアで広く人気を集める名前です。前世紀には最も多い男性名の第4位でしたし、ISTAT(イタリア政府中央統計局)提供のデータによれば、新世紀の最初の20年間に新しく誕生した子供のうちで群を抜いて多い男児名であり、2001年から2017年にかけてイタリア人の両親によって選択された名前の第1位です。この人気を再燃させるにあたっては、2013年に選出された際に、かの偉大にして謙遜な聖者に敬意を表して、自分の教皇名をただ“フランシスコ”とすると決めた、ホルヘ・マリオ・ベルゴリオこと現教皇が行った有名な選択も、間違いなく一役買っています。

N 53 b 【正答率】46.9%

【訳】「フランチェスコ」という固有名詞はフランク族の間ではごくありふれたものだった

N 54 b 【正答率】52.6%

【訳】アッシジのフランチェスコは実際にはフランス生まれだった

N 55 a 【正答率】86.7%

【訳】誕生してすぐは、彼はフランチェスコではなくジョヴァンニと名付けられた

PARTE IV

N 60

【訳】「昨日ロベルタは彼女の新しい仕事を始めました」。イラストを見て、過去時制を用いて話を物語ってください。(120 から 150 語で)

【模範解答例】Ieri Roberta ha cominciato il suo nuovo lavoro. La mattina si è svegliata molto presto: prima si è lavata, poi ha fatto colazione e dopo si è vestita. Ha indossato una bella gonna con una camicetta a righe ed è uscita di casa. Ha preso il treno ed è arrivata in ufficio in orario. Era molto emozionata perché non conosceva nessuno, ma il capoufficio l'ha presentata e tutti i colleghi sono stati molto simpatici con lei. A pranzo è andata a mangiare con due colleghe in un parco vicino all'ufficio e hanno chiacchierato molto. Poi sono tornate in ufficio e Roberta ha lavorato fino alle cinque. Dopo il lavoro ha incontrato il suo ragazzo e hanno deciso di andare a festeggiare insieme: prima sono andati in un bar per bere un aperitivo e poi a mangiare una pizza. La sera Roberta era molto stanca, ma anche molto contenta. (150 parole)

【訳】昨日ロベルタは彼女の新しい仕事を始めました。彼女は朝とても早く目覚めました。まず体を洗い、次に朝食を取り、その後で服を着ました。彼女はきれいなスカートとストライプのシャツを着て家を出ました。彼女は列車に乗り、時間通りにオフィスに着きました。知らない人ばかりなので彼女はとても緊張しましたが、所長が彼女を紹介してくれ、同僚は全員彼女にとっても感じよくしてくれました。昼食時に彼女は女性の同僚2人と一緒にオフィス近くの公園に食事に行き、たくさんおしゃべりしました。それから彼女たちはオフィスに戻り、ロベルタは5時まで働きました。仕事の後で彼女は彼女の恋人と会い、2人は一緒にお祝いしに行くことに決めました。彼らはまず食前酒を飲みにバールに、それからピッツアを食べに行きました。晩にはロベルタはとても疲れていましたが、とても満ち足りてもいました(150語)